

# 平成28年度砺波市男女共同参画市民委員会 会議要録

1	会議の名称	砺波市男女共同参画市民委員会
2	会議の日時	平成29年2月27日（金） 午後2時55分～午後4時35分
3	会議の場所	砺波市役所 3階 特別会議室
4	出席者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員 9名（三井会長、雨池委員、大井委員、境委員、里子委員、杉浦委員、鈴木委員、田辺委員、藤澤委員）</li> <li>・砺波市3人（横山企画総務部長、島田企画調整課長、島田広報協働係長）</li> </ul>
5	議題	砺波市男女共同参画推進計画（第3次）に関する取組状況 について
6	公開の明示及びその理由	公開
7	審議の概要	<p>1 開会</p> <p>2 挨拶 【企画総務部長】</p> <p>3 第2次砺波市総合計画の概要について【企画調整課長】</p> <p>4 砺波市男女共同参画推進計画（第3次）に関する取組状況 について</p> <p style="padding-left: 20px;">（1）砺波市男女共同参画推進計画（第3次）の概要</p> <p style="padding-left: 40px;">・計画策定の趣旨、位置づけ、基本理念、基本目標等 について ダイジェスト版により説明－【事務局】</p> <p style="padding-left: 20px;">（2）砺波市男女共同参画推進計画（第3次）の進捗状況</p> <p style="padding-left: 40px;">・数値目標と現状について－資料1により説明【事務局】</p> <p style="padding-left: 20px;">（3）男女共同参画企業実態アンケート調査結果報告</p> <p style="padding-left: 40px;">・主なアンケート調査の報告及び分析等について －資料2により説明【事務局】</p> <p>4 意見交換 以下のとおり</p> <p style="padding-left: 20px;">【委員：司会】</p> <p style="padding-left: 20px;">企業アンケートは、男女連絡会でも設問を考えた。連絡会では、昨年つどいの寸劇でイクボスを取り上げた。新聞によるとイクボス宣言をした企業が増えたが、県の審議会でも、イクボス宣言をした後、企業のトップがどれだけ意識を持って変えていくのか。働き方の見直しが大事であるとの意見がでた。DV関係では、医療機関でマニュアルを作成された。今年配布される予定。</p>

**【委員】**

婦人会がなくなってきており、地域の中で困っている。コミュニティが崩れてきているようで伝わらない。若い人の考え方が変わってきている。

地区自治振興会においても、入ってもらえず意見、主張がなくなってきている。自治振興会は、男社会ではない。どうやって引き込められるか、入り口を簡単にできないか。

**【委員：司会】**

以前の市民委員会でも話がでた。夫が忙しくて地区の会合に出席できない場合、代理として妻の方も出席してもらえずコミュニティがなくなってきている。DVがあっても地域でのつながりがないので情報が入ってこなくなる。婦人会、壮年会、老人会も同じ状況である。

**【委員】**

・婦人会の仕事は下仕事が多く、参加者は減少しており、声をかけているが苦戦している。

・企業実態アンケート中、女性が意見を言う場があり、気運があるのに女性自身が女性管理職になりたがらない結果となっている。実際どうかかわらないが、本当は管理職になりたいのにならぬ現実があるとしたら、家庭の仕事で、女性がやらねばならない仕事の量が多く、両立が難しいことではないか。

管理職の女性をみていると、婿取りや三世帯同居による家族の協力、核家族では夫の協力があれば管理職になっていかれる。

男性の料理教室、中学生の14歳の挑戦、高校生の赤ちゃん体験等、目に見える活動を地道にコツコツ続けていくこと、意識を少しずつ変えていくことでいい方向にいくのではないか。女性の管理職は大変である。男性の働き方の見直しを企業に働きかけていくことはいいこと。

女性でも家庭と仕事の両立体制ができるようぜひ働きかけてほしい。

**【委員：司会】**

「男性の働き方がかわれば女性の働き方はかわる」と言われたのは、北陸銀行ダイバー推進室の女性管理職の方である。男性の働き方の見直しを企業に働きかけていくために、それを具体的にどうやっていけばいいのか難しい課題。

**【委員】**

農業の形態が変わり、地域で営農組合が次々立ち上げられ、主に男性が参加しており、女性が置いてきぼりになった状態になっている。賃金が発生することから、女性も男性並みに仕事をしないとイケない状態。以前に比べ、農家の女性のがんがりが薄れてきている気がする。地産地消の起業をされている方もいるが、ほとんどの女性にはできない。仲良くどう生きていくかが問題。現状では、女性の視点を生かされていないことがない。

**【委員】**

商工会女性部は任意加入。昔の婦人会はやるものだという意識があったが薄れてきている。今の若い人は、スムーズに男女共同参画が浸透しているのでないか？10年、20年後に時代はかわるだろう。商工会婦人部も高齢化がすすみ、若い人が入ってこないのが現状。

**【委員】**

三世代同居率が減っている。子育て環境が進むほど同居率は減っていくが、深刻に考えずに自然に自分たちの力で別居していけばいいのではないか。資料では、女性の正規雇用が減って非正規雇用が増えている。定年になり年金をもらうまで、給料がもらえなくてもパートで使ってほしい人たちが増えているのでないか。決して増えたり減ったりするのは悪いことではないのでないか。

合計特殊出生率について砺波市は1.59人と聞いた。子育て環境を整えれば出生数も増えていくと思う。

**【委員：司会】**

小学校単位PTAアンケート結果では、若い30～40歳代のお母さん達が子どもの診察や看護のために休みをとるのに苦労したり、保育所からの呼び出しを受けて急な休みを取り難い現状や、父親が母親に代わって子どもの看護等に休暇をとるため、交代勤務を代わってもらうのに苦労している現状がある。

三世代であれば助かるが、同居とは別とのことで気遣う。市では三世代同居の条件が緩和され、敷地内でもよくなった。

**【委員】**

環境衛生について、ごみの分別がかわるということで自治振興会から話をされたが、説明を聞く人は男性が多いがごみを出す人は女性が多い。

女性は常会に出にくく、説明を聞いている女性が少ないので分別が変わることを知らない女性が多い。男性（夫）から女性（妻）に話が伝わっていない。男女平等は家庭から。地域の会合に女性も出席を呼びかけてもいいのでないか。

**【委員】**

ごみの後始末は自分になっている。母親クラブはもうやる意味はないのでないか。子供は少ないし役職の負担が大きい。児童クラブと一緒にいいのでないか。しかし一緒にすると母親しか出席しなくなると思う。児童クラブとひとつにしているところもあるが、母親の出席が多い。婦人会も任意なら行かなくていいという意識があった。主婦が外出するときは、家の段取りがあり疲れる。

**【委員：司会】**

子どものことは母任せという、家庭では男性意識として根深いものがある。子どもに関わる女性役員の出席は課題。家族の理解があって女性役員が出席できると思う。

**【委員】**

農業では麦、大豆を中心とした転作が進むと女性の出番は少なくなるが、花や葉物野菜等細かい農作業が必要となる品目が生産されるようになると、女性の出番も増えてくるのではないか。

自治振興会の活動では、女性組織の誰かが必ず参加するようにして、参加しやすい時間帯に「第3次計画」の話をしていけば、計画内容の情報等がいきわたるのではないか。

今の時代、事業を設ける度に推進組織を作っている。成果は上がるが、見込まれると一人でいくつもの組織の役職を兼任することから、役員になった者は会議に出るだけでも忙しい。

DVの事例について、男女のどちらも加害者、被害者になりうるが、医師から薬の処方されているのに、同居する伴侶の一方的な判断で、患者に薬を飲ませないということがあった。病気の人がきちんと薬を飲んでいるか見守ってほしい。

**【事務局】**

市長に報告し、採択判断することになる。手続き等は事務局に任せていただく。採択をいただいた。男女共同参画の目標に向けて努力していきたい。

5 今後の予定 **【事務局】**

- ・今後、ご意見・ご提案等があれば、様式を配布しているので、FAX・メール等で事務局へ提出願いたい。
- ・委員の任期は2年間であり、現委員の任期は本年3月末日までとなっている。新委員の任期を、改めて平成29年4月1日から2年間とさせていただきます、新しい委員の選考について準備を進めていきたい。

6 閉会

8 会議の主管課及び問合せ先

砺波市企画総務部企画調整課 0763-33-1111 内線204  
kikaku@city.tonami.lg.jp